

うっしっしいー情報2021

10月市



豊岡農業改良普及センター

10月13日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が84万4千円、雌が83万1千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	2	1.005	866,800	7	0.855	764,971	9	787,600
丹波篠山	2	0.876	816,200	6	0.841	790,717	8	797,088
丹波	16	0.965	818,194	15	0.837	746,827	31	783,661
朝来	13	0.997	869,169	6	0.876	779,900	19	840,979
播磨	18	0.926	816,139	15	0.833	799,627	33	808,633
美方郡	67	0.966	842,567	53	0.864	905,508	120	870,366
豊岡	23	0.943	832,748	16	0.829	741,881	39	795,469
養父	26	0.943	854,573	17	0.872	878,706	43	864,114
摂津・神戸	18	1.005	882,689	13	0.868	816,031	31	854,735
県北C	-	-	-	3	0.844	676,133	3	676,133
市場全体	185	0.962	844,104	151	0.854	830,544	336	838,010

10月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	忠味土井	9	0.969	875,967	6	0.812	906,400	15	888,140
2	丸若土井	30	0.950	872,630	13	0.886	898,869	43	880,563
3	芳悠土井	24	0.987	860,383	19	0.857	899,742	43	877,774
4	藤彦土井	10	0.964	857,670	8	0.862	846,450	18	852,683
5	芳山土井	7	0.968	832,071	11	0.866	844,100	18	839,422
	総計	185	0.962	844,104	151	0.854	830,544	336	838,010
6	宮菊城	5	0.984	841,720	6	0.872	803,550	11	820,900
7	照和土井	29	0.992	840,400	23	0.881	789,465	52	817,871
8	丸池土井	17	0.910	806,171	9	0.861	799,211	26	803,762
9	照忠土井	13	0.895	768,054	15	0.803	832,773	28	802,725

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	忠味土井	B	A+	A	A	A+	A++
2	丸若土井	B → A	A++	A++	A	A++	A++
3	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
4	藤彦土井	A++	A++	A	D	C	A++ → A+
5	芳山土井	A+	A+	A++	C	A	A
6	宮菊城	A	A+	A++	A	A+	A
7	照和土井	A+	A+	C	B	A	A+
8	丸池土井	C → D	A+++	D	B	A++	A+++ → A++
9	照忠土井	B	A++	A	A+	A++	A

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和03年8月現在)

ルーメン機能の発達に応じた飼料給与できていますか？

○はじめに

9月号では、ルーメン機能についてお話ししました。ルーメンが正常に機能することで、微生物が飼料を分解し、効率良く栄養を吸収することができます。しかし子牛のルーメンは、成牛のように優れた機能を持っているわけではありません。そこで、今回は子牛のルーメンの発達段階に応じた飼料給与のポイントについて考えてみましょう。

○生後～離乳時：スターターが絨毛を形成させる！

生後間もない子牛はルーメンが発達していない状況です。この時期に利用可能な栄養素を含む飼料は、ミルクとスターターになります。ミルクの栄養を小腸から直接吸収し、体の発育を促しますが、それだけではルーメン機能は発達しません。ルーメン内の絨毛は、スターターに含まれる穀物が消化されて発生する揮発性脂肪酸（VFA）の刺激により、発達が促されます。

生後3日目頃からスターターを与え、味に慣れさせましょう。また、ルーメン内微生物がスターターを分解・発酵するためには、水分がかかせません。スターターの採食量が増えない場合、水を飲めていない可能性があります。新鮮な水を自由に飲める環境であるか確認しましょう。離乳の判断は、月齢ではなく**スターターを1～1.5kg/日**採食できたかどうかを目安にしましょう。これが、ルーメン機能発達に向けた第一歩になります。

新鮮な水が飲めないと、スターターをたくさん食べられないよ。



○離乳後～6ヶ月：飼料中のタンパク質（CP）不足に注意！！

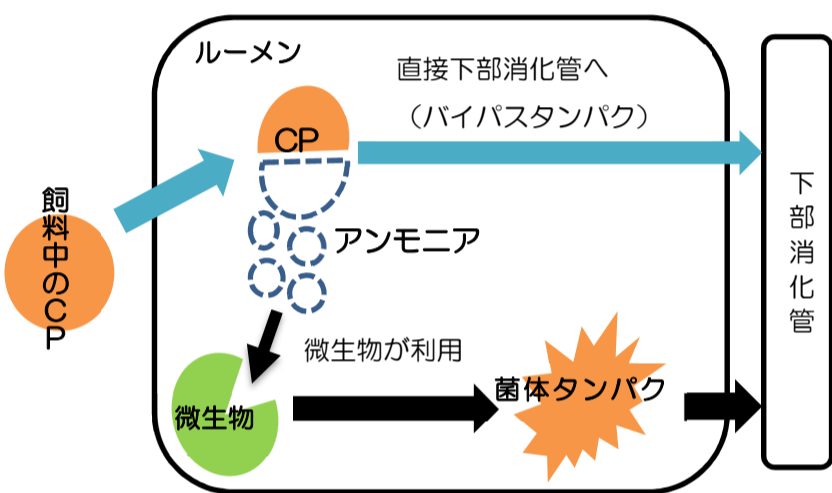


図 ルーメン内のCPが分解・吸収されるまで

飼料 (CP含有量：乾物中)	去勢		雌	
	①	②	①	②
配合飼料 (16%)	3.0	2.75	2.5	2.25
加熱大豆粕製品 (52.8%)	0	0.25	0	0.25
チモシー (7.5%)	1.5	1.5	1.5	1.0
スーダン (8.2%)	0.8	0.3	0.8	0.7
ハイキューブ (14.7%)	0	0.5	0	0.6
DM充足率	102%	102%	101%	102%
TDN充足率	108%	110%	110%	110%
CP充足率	84%	100%	81%	100%

この時期は、体を大きくするために、タンパク質を効率良く吸収させる必要があります。哺育期はミルクやスターターから栄養分を補っていましたが、離乳後は粗飼料や配合飼料に置き換わることによる、タンパク質不足に注意してください。

表は、去勢と雌の150日齢の飼料給与例です。①は一般的に実施されている飼料給与例ですが、去勢、雌共にタンパク質（CP）が足りていません。そこで、②のように配合飼料の一部を加熱大豆粕製品（バイパスタタンパクを多く含む飼料）に、イネ科乾草の一部をアルファルファ（乾草やハイキューブ）に置き換えることで、CPを充足させることができます。タンパク質不足にならないような飼料給与をしましょう。

図のように、飼料中のタンパク質（CP）は、そのままルーメンを通過して、小腸等の下部消化管で直接利用される部分（**バイパスタタンパク**）と、ルーメン内でアンモニアなどに分解される部分に分かれます。アンモニアなどを利用して作られるタンパク質を**菌体タンパク**と言います。ルーメン内の微生物が炭水化物（デンプンや消化の良い繊維）をエネルギー源として、アンモニアなどの窒素源を取り込んで増殖し、最後は自らが牛の栄養として利用されます。そのため、炭水化物を含む配合飼料と粗飼料をバランス良く食べていなければ、菌体タンパクをたくさん作り出すことはできません。微生物が効率良く菌体タンパクになることで、成育に必要な栄養分を吸収できます。

○7ヶ月～9ヶ月：市場出荷に向けて、肋張りの良いお腹をつくる

この時期は、肋張りの良い子牛に育てるため、採食量を増やし、ルーメン内容積を拡大させる必要があります。出荷までに良質な乾草4kg/日を、食べられることが理想です。生後間もない頃から数種類の良質な乾草を、自由に採食できる環境づくりを行いましょう。そして、過肥にならないために、子牛用配合飼料の給与量を去勢3.7kg/日、雌3.2kg/日※までに抑えましょう。乾草に比べ、配合飼料をより多く食べる子牛は、下腹が膨らんだ洋なしのようなお腹になってしまいます。粗飼料の食い込みが良ければ、ドラム缶やリンゴのような丸いお腹の子牛ができます。

ルーメン機能を発達させ、発育時期に応じた飼料給与を行い、肋張りの良い子牛を育てましょう。

※但馬牛子牛管理マニュアルより

○今月号のポイント

- 離乳の判断は、スターター1～1.5kg/日の採食量を目安にしましょう。
- 離乳後、CP不足にならないよう加熱大豆粕製品やアルファルファの給与で補いましょう。
- 出荷までに良質な乾草を4kg/日食べる子牛が理想です。

お腹が丸く、肋張りの良い牛です！

